

学生研究補助（インターン）を募集している研究プロジェクト

プロジェクト名	経済社会的効果測定指標の開発
専門性	情報工学、計量書誌学、経済学、経営学
内容	<p>イノベーションプロセス・スターサイエンティストの解明を進めるためのデータ分析</p> <p>1. プロジェクトの概要</p> <p>政策分析・影響評価PJでは、科学技術の変遷および政策の変遷を把握し、それらの情報をマッピングすることで、科学技術およびその政策が新製品や新サービスとして具現化されるイノベーションにどのような影響を与えたのか定量的に解析することを目指しています。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <p>本研究では、(1) JST 研究開発戦略センター研究開発戦略センターがこれまでに実施してきた科学技術課題の調査、(2) NISTEP 科学技術動向研究センターが実施してきた科学技術予測調査、(3) 特許および論文書誌情報データベース (PATSTAT、Web of Knowledge、Scopus など)、(4) 新製品や新サービスに関わるプレスリリース情報等のデータベースを接合することにより、個々の科学技術がどのようなアウトプットを生み出したのか、その際、政策的な資源投入あるいは制度変更がどのような影響を与えたのかを明らかにします。インターン生には (A) データベースの接合および名寄せ手法の開発・検討、(B) 定例ミーティングへの参加等の業務に関わって頂きます。</p>
業務に必要なスキル	<ul style="list-style-type: none"> 定量分析の経験 (R、Stata、EViews など) プログラミング言語 (Python、Ruby、Java、C、Fortran など)
身につく知識・スキル・経験	<ul style="list-style-type: none"> 多変量解析や統計分析に関する知識と実務経験 (いわゆる「データサイエンティスト」として一般に求められる能力) プログラミング言語 (PHP、JAVA、C、ruby 等) を活用する知識と経験 大量のテキストデータ (いわゆる「ビッグデータ」) を活用する経験 科学技術イノベーション政策に関わる研究者・行政官、その他関係者との人的ネットワーク

プロジェクト名	政策形成のフレーミング、ステークホルダー分析、プロセスの構築を通じた政策形成プロセスの改善手法の開発
専門性	政治学・行政学・政策学

内容	<p>政策形成の過程やステークホルダーに関する分析を通して、有効な政策案を実施するため必要な要素を探求していただきます。</p> <p>1. プロジェクトの概要</p> <p>科学技術イノベーション政策研究センターの政策形成プロセス実践領域では、政策形成プロセスを対象とした研究を行うことで、その政策が成功または失敗した原因を探り、有効な政策案を実際に実施するためにどのような要素が必要かを探求しています。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <p>現在、研究チームでは「医療におけるICTの活用」に関する政策などについてケーススタディを実施しており、学生の方には、先行研究の調査、審議会の議事録分析、インタビュー調査、社会調査の設計と分析、事例の提案及びプロジェクトの運営補助等に関わっていただきます。</p> <p>3. 留意事項</p> <p>特にありません。政策に関する研究と、実際の政策形成における課題を結びつけるということについて考えるきっかけとしてもらえればと思います。</p>
業務に必要な知識・スキル	特になし
業務を通じて得られる知見、スキル等	<ul style="list-style-type: none"> 政策過程研究に関する知識や経験 研究を進めるためのマネジメント能力 研究者、政策間担当者、関係者との人的ネットワークなど

プロジェクト名	イノベーションシステムを推進する公的研究機関の制度的課題の特定と改善
専門性	特に問わない。
内容	<p>1. プロジェクトの概要</p> <p>本プロジェクトは、科学技術イノベーションを推進する主体の一つである大学や公的研究機関のマネジメントの改善に資するマネジメントスコアボードの構築に向けた調査研究を実施し、諸外国の大学の戦略計画（Strategic Plan）の事例集積、国内大学の経営データの分析等を通じて大学・公的研究機関の経営を支援することを目指しており、以下の二つの研究課題を進めている。</p> <p>A) 諸外国のトップ研究大学の戦略計画の収集と分析</p> <p>諸外国の主要研究大学の戦略計画（Strategic Plan）に着目した上で、各研究大学の戦略的目標（Goals）、戦略（Actions）、指標（Indicators）の内容を分析し、トップ研究大学が如何なる『目標』、『戦略』、『指標』を設定し経営をしているのか、そこに共通性や多様性が見られるのか把握する。具体的には、米国・英国のトップ研究大学が独自に発行した戦略計画（Strategic Plan）、日本の国立大学の中期目標計画、戦略計画を収集とテキストデータ化を行い、それを利用したテキスト分析を実施する。</p> <p>B) 国立大学法人等のデータを利用した大学経営に関わる指標の分析</p>

	<p>上記戦略計画のテキスト分析を踏まえた上で、大学改革支援・学位授与機構との共同研究のもと、我が国の国立大学法人の実態を各種指標に基づき把握する。また、当該データの大学経営に関わる指標策定への利用可能性を検討し、「マネジメントスコアボード」の構築に向けた基礎的な調査研究を行う。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <p>インターンでは、諸外国の大学の戦略計画や財務データの分析等の研究業務を通じて、日本の高等教育政策・大学経営において必要な課題を探求していただくことを予定しています。なお、業務内容については、個々の関心に応じて相談させていただきます。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日本、イギリス、アメリカの大学の戦略計画に関するテキストデータの整理・分析。 • 米国の大学の財務データの整理・分析。 • 高等教育政策、大学マネジメントに関連する先行文献、海外情報の収集・整理。 <p>3. 留意事項</p> <p>高等教育政策、科学技術政策、大学マネジメント等に関心を持っていることが望ましい。</p>
業務に必要な知識・スキル	特に問わないが、統計ソフト (Stata 等) を利用した基本的な統計分析に関する経験があると、尚可。
業務を通じて得られる知見、スキル等	<ul style="list-style-type: none"> • 日本、イギリス、アメリカの高等教育政策、大学評価のあり方、大学経営に関する知識 • 統計分析、テキスト分析の経験

プロジェクト名	科学技術イノベーションと社会に関する測定
専門性	特に問わないが、科学技術イノベーション政策、科学技術社会論または社会調査に関する知識があると尚可。
内容	<p>1. プロジェクトの概要</p> <p>科学技術イノベーション政策は、成果達成までの道筋が中長期に亘り不確実性が高いことから、他の政策分野以上に、政策効果の把握には困難な問題が伴うことが知られています。特に、科学技術の社会受容性や、科学技術が社会に及ぼす有形無形の幅広いインパクトの把握は、長年の課題となっています。</p> <p>本プロジェクトは、上記のような科学技術イノベーション政策の特質と、現実の政策形成への適応の実情を踏まえた上で、より幅広い視野に基づき、科学技術イノベーション政策のモニタリング及び改善のための指標開発を行なうことを目的としています。特に、科学技術イノベーションの文化的要素・土壌の可視化、科学と社会の望ましい関係性構築に資する指標開発、科</p>

	<p>学技術分野へのキャリアパスや科学リテラシーの向上の決定要因分析等、新たな指標開発とそのための基盤整備に取り組んでいます。</p> <p>より具体的には、次のような内容になります。</p> <p><u>①政策レビューと指標に関する勉強会</u>：</p> <p>科学技術イノベーションと社会に関する適切な政策のあり方を提言するため、関連政策のモニタリング、効果測定の方法、カギとなる指標の検討・収集を行なっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究者や政策担当者とともに指標案について検討するワークショップ・勉強会の開催 ・国内外の関連政策及び研究動向の把握、体系的整理 ・国内外の関連調査（※）の収集及びデータベース化 <p>※国内外の個人または組織を対象とした、科学技術イノベーションに関する知識、理解、関心の度合い、信頼度、受容度、コミュニケーション、参加の度合い等についての調査（世論調査等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学技術イノベーションの文化的要素・土壌についての分析（マイクロデータ分析、テキスト分析、コンテンツ分析、可視化分析等） <p><u>②公共的関与に関する国際共同調査</u>：</p> <p>大学等研究機関が、自らの研究に関する公共的関与として行なう活動の内容、動機、資源等に関する国際共同調査に参加しています。</p> <p><u>③科学技術分野へのキャリアパスや科学リテラシーの向上の決定要因に関するマイクロデータ分析</u>：</p> <p>国際数学・理科教育動向調査（TIMSS）、OECD 生徒の学習到達度調査（PISA）、国際成人力調査（PIAAC）、高校生の進路追跡調査などのマイクロデータを用いて、個人、家族、教育、社会などの潜在的要因が与える影響を定量的に分析しています。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <p>上記①～③に関する調査業務を補佐するインターンを募集いたします。応募者の興味関心、専門分野に応じて、テーマを定めてプロジェクトへ貢献して頂くことを想定しています。定量分析にかかわらず、ワークショップの資料準備・議論のまとめ、概念整理、政策情報の収集等の定性的な業務も含めた幅広い調査業務を行なっています。必要に応じて研究会へ参加頂き、議論に参加頂くことも想定しています。</p> <p>上記①～③のうち、どれを希望するか明記の上、ご応募下さい。</p>
<p>業務に必要な知識・スキル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定量分析を行なう場合、統計ソフト（R等）、データベース（Access、SQL等）、テキスト分析、Webスクレイピング技術のいずれかに関する知識・経験があると尚可。 ・ 国際共同調査や海外の政策及び研究動向の把握を行なう場合、英語での情報収集が必須。

業務を通じて得られる知見、スキル等	<ul style="list-style-type: none">• 社会調査等を用いた定量分析の経験• 科学技術と社会の分野の海外の政策及び研究動向の知識• 科学技術イノベーション政策に関わる研究者・行政官、その他関係者との人的ネットワーク
-------------------	--